

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 2 月 28 日作成 第 1.0 版

研究課題名	当院と連携病院間での地域医療連携システム構築にあたり連携の実態と阻害要因を調査分析し、制度面や報酬面から解決策を検討する観察研究
研究の対象	2023 年 4 月～2028 年 3 月の間に、横浜市立大学附属病院整形外科で変形性股関節症や変形性膝関節症、特発性大腿骨頭壊死症、特発性膝骨壊死、リウマチに伴う関節障害、発育性股関節形成不全と診断され手術適応となる患者さんのうち、診断当時の年齢が 18 歳以上の方を対象とします。
研究の目的	変形性股関節症や変形性膝関節症、特発性大腿骨頭壊死症、特発性膝骨壊死、リウマチに伴う関節障害、発育性股関節形成不全の手術加療において、人工関節置換術や寛骨臼回転骨切り術、膝周囲骨切り術が当院では行われています。当院での手術枠が限られているため、手術までの待機時間が長期化しております。そのような患者さんの中で他の病院でも良いのであるべく早期の手術をご希望される方は、当院と連携している病院にご紹介しております。また当院で手術を行い、術後のリハビリテーションが必要な患者さんも連携病院にご紹介しております。当院と連携病院との地域医療連携システムを構築することでより迅速に患者さんのご紹介が可能になると考えておりますので、連携システムでの阻害要因などを調査して解決策を検討することで円滑な連携が可能になることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、連携システムの阻害要因について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2029 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、既往歴 ・手術情報：術式、出血量、合併症等 ・治療内容：手術、リハビリテーション ・合併症の有無とその内容 ・当院から連携施設にご紹介するまでの日数 ・当院から連携施設へのご紹介が遅くなってしまった原因 ・当院から連携施設へご紹介ができなかった原因

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長であります。その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院整形外科 稲葉 裕
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は、大学の寄附金を用いて行います。本研究で開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）稲葉 裕
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）稲葉 裕 （問い合わせ担当者）稲葉 裕</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 2931</p>	